

>>>INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007

Artist as Activist

“Artist as Activist” 記録冊子

Documentation of “Artist as Activist”

日本語 / English



編集 / Edit by : AA project team

2007

[目次 / Contents]

芸術祭概要.....	3
Summary of the festival	
プログラムの解説.....	4
Programme	
参加アーティスト.....	5-10
Participating artists	
プロジェクト.....	11-18
Projects	
企画者-AA project team.....	19-20
Organizers – AA project team	
企画／主催 Organized by	
AA project team とは What's AA project team?	
運営メンバー Members of organization	
オフィス Office	
芸術祭協力者 Supporters	
芸術祭日程 Schedule of the festival	
デザイン.....	21-22
Design	
フライヤー Flyers	
ウェブサイト Web site	
ロゴ Logos	
サインボード Boards	
データ編.....	23-24
収支報告 Expense and income	
動員観客数 Number of audience	
プレスクリップ.....	25-26
レビュー Preview	
レビュー Review	
企画者から.....	27
Message from organizers	

[芸術祭概要]

INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007

芸術祭名 : "Artist as Activist"

会期 : 2007年10月8日 (月) -14日 (日)

会場 : 成田国際空港、渋谷ハチ公前、代々木公園、新橋駅前広場、plan B

主催 : AA project team

助成 : Pro Helvetia, Swiss arts Council

後援 : ドイツ連邦共和国大使館、駐日ポーランド共和国大使館

認定 : 社団法人企業メセナ協議会

協力 : Arts and Law

URL : <http://www.artistasactivist.org/>



[参加アーティスト]

Yevgeniy Fiks(USA/Russia), Valerian Maly & Klara Schilliger(Germany/Swiss) Wladyslaw Kazmierczak & Ewa Rybska(Poland), Immo Klink(UK), Steve Hines(UK), Lynn Lu(Singapore), Stefanie Trojan(Germany), 田上真知子(Japan), 山下麻衣+小林直人(Japan), 丹羽良徳(Japan), 小鷹拓郎(Japan),他

[コンセプト]

"Artist as Activist"の目的は東京という都市が持つ歴史／文化／環境／人々と現代芸術がどのように関わっていくかという問いに身体的なパフォーマンスやプロジェクトを通して、文化や民族の違いを越えて共に考え、街や社会との関わり方を考察する事です。国際的なアーティストのと日本国内で活動するアーティストの両方の視点により東京を見据え、現場で起こる出来事を通して、現在の東京の姿を浮かび上がらせる試みでもあります。この芸術祭では、特に公共空間などを利用し現場で起こる出来事に注目します。市民とアーティストの共同作業や協力といった関係の中から、これからあるべき文化を生み出そうと考えています

[方法論と特色]

Artist as Activist では、芸術祭の特性上美術館のような特定の会場を設けていない。その為、作品プロジェクトは直接的に街そのものに関わりを持ち、市民の目にさらされることになる。作品の実施される場所は市内各地広範囲に渡り、観客はこのマップを手がかりに見慣れた街へ"新たな旅"にでるのだ。また、逆に偶然の出会いも起きるわけだ。これは、過疎の進む村を芸術で活性化させるような地域プロジェクトとはことなる点だ。あくまで見慣れた都市を街を再発見することがその大きな特徴である。

Artist as Activist ではこのような考えを基に、Google Map などのメディアを活用しながら、東京という街が持つ地域性を考え作品設置の選定を進めて行きたと考えている。大まかに言って東京 23 区内を主たる範囲と定め、各地域のリサーチを行ないバランスを持って望みたい。東京都民にとって、この企画が都市発見の新たな足がかりになることを期待したい。芸術祭 "Artist as Activist" は以下の 3 つカテゴリーから構成されています。

■A : シティプロジェクト 2007年10月8日 (月) -14日 (日)

<City project>東京23区内各所他 - 路上や公共空間で行なう都市プロジェクト

■B : ライブパフォーマンスアート 2007年10月8日 (月) -14日 (日)

<Live performance art>東京23区内各所他 - 公共空間などでのライブパフォーマンス。

■C : ヴィデオドキュメントの上映 2007年10月14日 (日) 19:00-22:00

<AA project Video Night>Plan B 料金 : 1000円

[プログラムの解説]



Pre ■10月7日 (sun) 17:00-17:40 Valerian Maly & Klara Schilliger "Arrival zone"

成田国際空港第2ターミナル到着ゲート

「来日する人々に向けてアーティストが日本語でサインボードでメッセージを送りました。」



■10月8日(月/祝) 20:00-24:00 Artist as Activist "渋谷界限移動式オープニングパーティー"

集合場所:JR渋谷駅スクランブル交差点すぐのスターバック前

「渋谷の面白そうなポイントを移動しながらオープニングを祝います。通行人にもビールを振る舞た



■10月9日 (tue) 20:00-20:05 丹羽良徳 "Hyper pillow fight"

JR渋谷駅ハチ公前

「5分間だけのまくら投げ大会をしました。まくら持参で参加自由です」



■10月10日 (wed) 14:00-15:00 小鷹拓郎 "公園レシピ"

代々木公園内、原宿駅最寄りの芝生広場

「公園にある砂やゴミを使ってみなさんと大きなサンドイッチを作りました。」



■10月11日 (thu) 13:00-17:00 Yevgeniy Fiks "Ideo water"

東急田園都市線「二子玉川」駅周辺

「多摩川の水、東京の水道水、ミネラルウォーターの三種類の試飲会をしました。すべて詳細な成分分析付き」



■10月12日 (fri) 13:00- Valerian Maly & Klara Schilliger "vapour trail"

JR新橋駅前広場

「スイスのアルプスで収集した石20kgを封印した氷を背負い、歩きました」



■10月13日 (sat) 11:45-12:00 Valerian Maly & Klara Schilliger "Departure zone"

成田国際空港第2ターミナル出発ゲート

「アーティストが帰国する時、覚えてたの日本語を披露しました」



■10月14日 (sun) 19:00-24:00

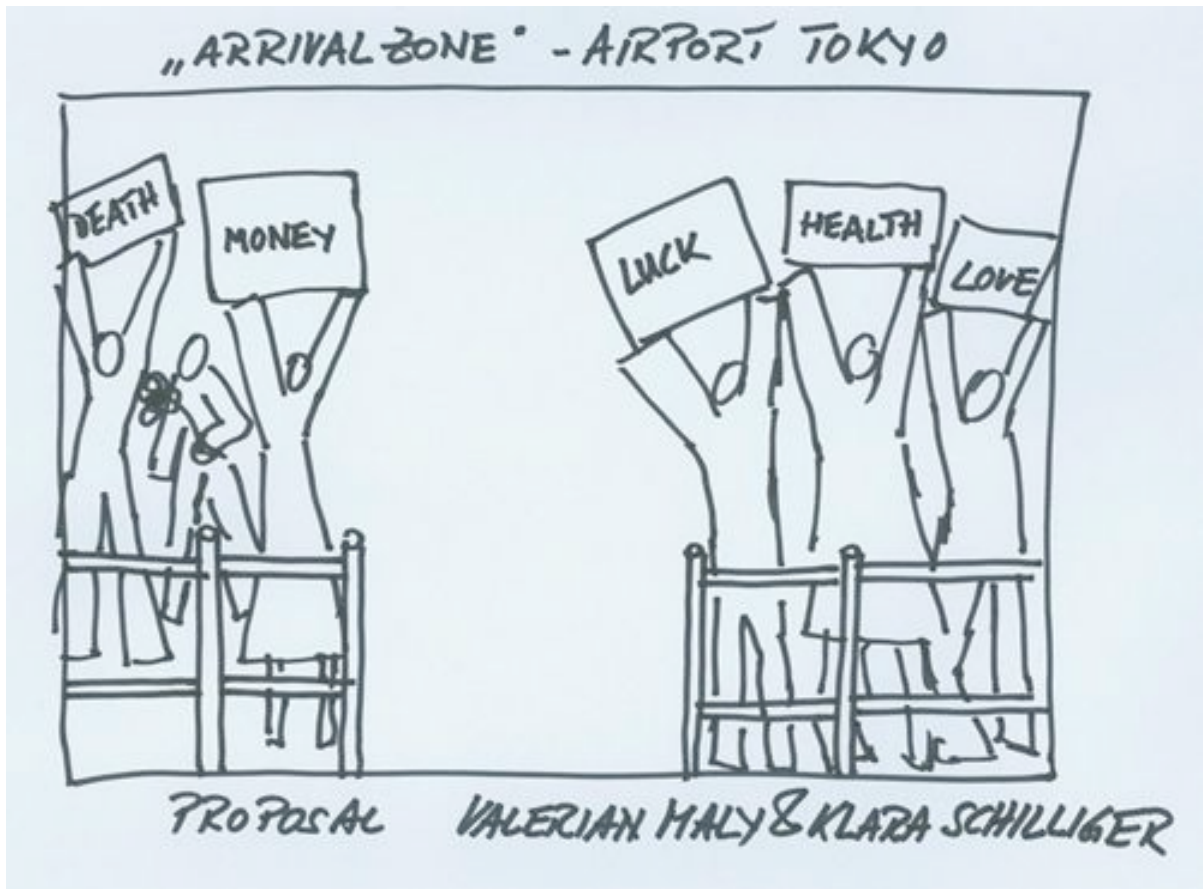
AA video night

Plan B 入場料:1000円 「10/7-13までの記録映像と共に世界中のアーティストの映像を一挙公開」

[参加アーティスト]

プロジェクトプレゼンテーション

ヴァレリアン・マリー&クララ・シリガー / Valerian Maly & Klara Schilliger (Germany/Swiss)



“arrival/ departure zone” プロジェクト

成田空港の展望デッキや到着ゾーンから、来日飛行機の乗客に花束や「Love」や「Peace」といったプラカードを見せるプロジェクト。日本という国にやって来たという事を祝福する。また出国ゾーンでは滞在中に覚えた片言の日本語をプラカードに書きみせる。日本の島国文化と異国の人を受け入れるという歴史に対するアクション。

Klara Schilliger

1953年生まれ。現在ドイツのケルン在住。モダンダンスを学ぶ。現在チューリッヒのthe Hochschule für Gestaltung Zürichでパフォーマンスアートを教えている。

Valerian Maly

1959年生まれ。現在スイスのベルン在住。音楽を学ぶ。現在ベルンのthe Hochschule der Künste Bern (HKB)でメディアアートとパフォーマンスアートの教授である。

1984年より共同でパフォーマンスアートやインスタレーションの分野で作品制作/発表を世界各国で行なう。また自己の作品を”InstallAction”という造語を使い表す。

イブゲニー・フィクス / Yevgeniy Fiks (USA/Russia)



“Ideo waters” プロジェクト

「(A)東京の水道水、(B)ミネラルウォーター、(C)隅田川の水の三種類の水を用意し、一般通行人に自由に飲めるように設置。各水は水質検査機関での精密検査を受け、データを展示。都市における、水と飲み水に関するプロジェクト。」

1972年ロシアのモスクワ生まれ。1994年にNYに移住。Brooklyn College, New

Yorkとthe School of Visual Arts, New Yorkを卒業後、ヨーロッパなどで展覧会多数。主な展覧会に第一回モスクワピエンナーレなど。

丹羽良徳 / Yoshinori Niwa (Japan)



“Hyper Pillow fight” プロジェクト

都市の中で突然の枕投げ大会を企画する。自分のいつも使っている枕を持って集合する。都市中での偶然の出会いと勝ち負けの無いゲームを東京版にアレンジする。東京の知らない人同士を繋げるプロジェクト。

1982年生まれ。多摩美術大学映像演劇学科卒。自然や動物と関わりながらの肉体的かつ社会的な作品を企画し、日本や海外で発表、また路上でアクションなどを行なう。主な作品に「ヤンキー養鶏場」鳥インフルエンザが流行した時期に鶏にイラク戦争や身の回り様々な質問をしにいくプロジェクト、「水たまりAを水たまりBに移しかえる」世界中の水たまりを口で吸い上げ別の水たまりに移しかえるプロジェクト、「植物と一緒に音楽バンドを結成する」植物と一緒に音楽バンドを結成できるのかどうか考えるプロジェクトなどがある。URL : www.niwa-staff.org

小鷹拓郎 / Takuro Kotaka (Japan)



“公園レシピ” プロジェクト

公園や公園周辺にあるゴミや砂、雑草を具材として疑似料理を作り、そのレシピを収集するプロジェクト。公園で疑似料理を作る行為を日本では「オママゴト」と呼んでいる。オママゴトで作られた料理は、通常では不可能である特殊な調理法も可能で、作り手（シェフ）の想いや創造力、文化的背景や育った環境が技術を通さずに純粋に再現される。

1984年生まれ。現在東京在住。阿佐ヶ谷美術専門学校でデジタルメディアを学ぶ。その後、アジア各国を放浪した経験よりパフォーマンスアートを行なう。URL : www.kotaka766.com

ビデオプレゼンテーション

イモ・クリンク / Immo Klink (Germany/UK)



“Urban Climbing” DVD / Slide show / 2004

東京都内のビルや建造物にみんなでよじ登ろうとするプロジェクト。（但し、50cmしか登らない）都市化される東京に対する小さな反抗心。

1972年ドイツ生まれ。現在ロンドン在住。ドイツの大学で法律を学び、その後ロンドン大学で法学と知的財産の修士課程修了。写真家ヴォルフガング・ティルマンスのアシスタントを経て、写真制作を行なう。「BeauzArts」, 「ArtReview」, 「I-D」などの美術誌／ファッションカルチャー誌などで取り上げられる。都市の景観や人々に注目し、作品を制作する。

URL : www.immoklink.com

ブラディスラウ・カジメルチェク&エバ・リブスカ “Wladyslaw Kazmierczak & Ewa Rybska”(Poland)



“We like to watch at you” DVD / 57分 / 2004

1951年ポーランド生まれ。現在イギリス在住。クラコフ（ポーランド）のthe Academy of Fine Arts in Cracowの修士過程修了。1979年から200以上のパフォーマンスを世界各地で行なう。また、ポーランドでパフォーマンスアートの祭典”Castle of imagination”を企画するディレクターでもある。

スティーブ・ハインツ / Steve Hines (UK)

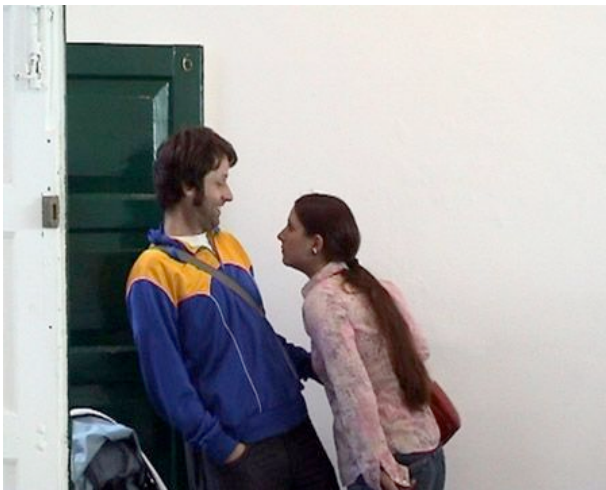


“8 x 8” 他 DVD / 12分

10時間続けられた穴堀の記録映像。逃げ場無き逃げ場の創造行為。私はどこへ行くのか考える。

1963年イギリスのノッティンガム生まれ。現在ロンドン在住。写真とビデオアートを学び、ロンドンのCentral St Martinsのファインアート科の修士課程修了。

ステファニー・トロヤン / Stefanie Trojan (Germany)



“Kontaktaufnahme / first contact” DVD

他人の脇の臭いを嗅ごうと試みるパフォーマンスの記録映像。他人との出会いのプロセスとテリトリーを考察する。

Stefanie Trojan(Germany)

1976年ドイツ生まれ。現在ミュンヘンとフランクフルトで活動する。the Academy of Fine Arts Munichで彫刻を学ぶ。2003年ドイツ学術交流基金の援助を得てNYへアーティストインレジデンスを行なう。路上や公共空間での極簡単な行為を行ない、他人への出会いのプロセスを考える。

アウト・ラウンジ / Out-lounge (Japan)



”ゼロ次元以降のアクションアート” DVD / 35分 / 2006-2007

2006年11月実施された同タイトルのイベントの記録映像。東京の都電荒川線を貸し切ったの車内パフォーマンスの様子。東京のパフォーマンスアートの歴史。

Out-lounge 運営者田上真知子(Japan)

1971年生まれ。シカゴのThe School of Art Instituteを経てColumbia CollegeのFine Art科を1998年に卒業。その後、東京を拠点にパフォーマンス作品を主に発表しつつ2001年には「パフォーマンスがみたい！」を企画。また同年アトリエ兼フリースペース「out-lounge」を3人のメンバーで東京の大塚に設立し、パフォーマンスアートのプログラムや演劇、音楽など多様に渡る芸術活動を展開した。。

山下麻衣+小林直人 / Mai Yamashita+Naoto Kobayashi (Japan)



“Release of mineral water” DVD / 5分 / 2004

東京で購入したドイツのミネラルウォーターを実際にドイツ・ライン川近くの源流まで持って行き、放流する。何処にでもある「水」を、わざわざ遥か遠くから運んで来ている人の行為自体に、二人が逆行する事で、疑問を投げかける試み

山下麻衣

1976生まれ。東京芸術大学の油画科修士課程修了。

小林直人

1974生まれ。東京芸術大学の油画科修士課程修了。

ビデオを主なメディアに制作。2004年に渡独し、現在はスイスのアーティストインレジデンス、Kuenstler Atelier AKKU Usterに滞在。2006年には国際展"ARS 06"キアズマ現代美術館(ヘルシンキ)、"トランスメディアール06"(ベルリン)等に参加。

リン・ルー / Lynn Lu (Singapore)

“Dear” DVD / 2006



シンガポール生まれ。フランスとアメリカで美術を学んだ後、東京芸術大学先端芸術学部の修士課程修了。現在武蔵野美術大学の博士課程在籍。女性としての自分の成り立ちを考えるようなパフォーマンスを他人とのコミュニケーションの中に見出す作品を作る。

[プロジェクト]

■10月7日 (sun) 17:00 - 17:40
Valerian Maly & Klara Schilliger "Arrival zone"
成田国際空港第2ターミナル到着ゲート



Photograph by 小鷹拓郎

“成田空港の展望デッキや到着ゾーンから、来日飛行機の乗客に花束や「Love」や「Peace」といったプラカードを見せるプロジェクト。日本という国にやって来たという事を祝福する”

メディア：パフォーマンス

マテリアル：サインボード

写真撮影：小鷹拓郎、直方平ひろと

ビデオ撮影：丹羽良徳

スイスからの飛行機で到着し、ゲートを抜けると同時にアクションが始まり、旅行者に混じりながら奇妙なプラカードが提示されました。「葛飾北斎」「三島由紀夫」「東條英機」「小野洋子」「お金」「健康」「蛍」「建前」「本音」「こけし」「珍道具」「広島」「ぶりっこ」「枯山水」など…様々な脈絡の無い日本語が提示されました。飛行機会社のスチュワーデスさんなどはこの奇妙な光景に吹き出したり、驚いたりしていました。「待っても来ない人」を一途に待ち続けるような無意味だけれども、人間の本質のような行為だと感じました。空港という人間の行き来する交差点でのドラマの始まりを予感させるかのようです。アーティスト2名で40分ほど様々なサインを提示し続けました。

■ 10月8日(月/祝) 20:00 - 24:00
Artist as Activist "渋谷界限移動式オープニングパーティー"
集合場所: JR渋谷駅スクランブル交差点すぐのスターバック前



Photograph by 恩田晋吉

「渋谷の面白そうなポイントを移動しながらオープニングを祝います。通行人にもビールを振る舞ったり」

メディア：パーティー

マテリアル：ビール、スーツケース、看板

写真撮影：恩田晋吉、菅沼佐知子

ビデオ撮影：小鷹拓郎

渋谷という街を会場と設定し、ビールを片手に歩きまわった。通行人や買い物客にも積極的に話かけイベントの告知を兼ねながら祝杯を揚げました。おおよそ2時間に渡るオープニングではセンター街、道玄坂、円山町、京王線渋谷駅周辺、ハチ公前まで。オープニングでありながら、同時に路上観察的な趣向で参加者の皆様は楽しんでいました。普段いつも通っている街の中にまた新たな発見をすることは冒険ではなく、裏路地を観察することから始まるということ学びました。

■ 10月9日 (t u e) 20:00 - 20:05
丹羽良徳 " H y p e r p i l l o w f i g h t "
J R 渋谷 駅 八 丁 公 前



Photograph by 菅沼佐知子

「5分間だけのまくら投げ大会をします。まくら持参で参加自由です」

メディア：パフォーマンス

マテリアル：まくら、笛

写真撮影：恩田晋吉、菅沼佐知子、小鷹拓郎、根上陽子

ビデオ撮影：小鷹拓郎、松尾思樹

20:00前から大勢の参加者が思い思いの枕を持参し集まる光景は素敵でした。渋谷の街自体それだけでも多くのパワーを放っていますが、個人個人がバラバラの状態で纏まりが無い感じがします。例えば、今回のまくら投げでもいいのですが、一つの目的に沿って今まで連帯していなかった市民が楽しむということだけで、ただそれだけの為に枕を持って電車に乗ってやってくるというのは、とても想像以上に刺激的でした。現代の社会が個人所有や経済の自由化という陰で人間の繋がりというものが忘れ去られているというのをもう一度確認できる機会でした。実際に枕投げに身を投じた人は少ないかもしれませんが、それを目撃した人々の心の中でも生き続けることでしょう。

■ 10月10日 (w e d) 14:00 - 15:00
小 鷹 拓 郎 " 公 園 レ シ ピ "
代々木公園内、原宿駅口最寄りの芝生広場



「公園にある砂やゴミを使ってみなさんと大きなサンドイッチを作ります」

メディア：ワークショップ

マテリアル：代々木公園内のゴミ

写真撮影：丹羽良徳

ビデオ撮影：丹羽良徳

ゴミを拾い即席で擬似料理をつくるという単純明快な行為の中に、多くの民族的個人的思い入れが隠されていることを思わされた刺激的なワークショップ。食文化はどんな人間にでも切っても切れない縁があります。毎日繰り返している食事の中で刷り込まれた思いや体験が自ずと創出するという点で、今回の参加は多種多様な表情を見せたようです。

イギリス人女性（日本人男性と結婚）、スイス人アーティスト、美術学生などバックグラウンドが全く違うなかで一つの料理を創作する。当初はサンドイッチを作るという話ではあったが、結局ピザを作るという結果になりました。ゴミはレジ袋、木材の破片、ピクニックシート、お菓子の袋など現代的なゴミの様相も見えるようです。それによって食事を再創造するという皮肉でもあるのでしょうか？

■ 10月11日 (t h u) 13:00 - 17:00
Y e v g e n i y F i k s " I d e o w a t e r "
東 急 田 園 都 市 線 「 二 子 玉 川 」 駅 周 辺



Photograph by 丹羽良徳 (右) ,山田はるか (左)

「多摩川の水、東京の水道水、ミネラルウォーターの三種類の試飲会をします。すべて詳細な成分分析付き」

メディア：ワークショップ

マテリアル：水質検査表、多摩川の水、ミネラルウォーター、水道水、棚、ウォータータンク

写真撮影：小鷹拓郎、丹羽良徳、木村健太、山田はるか

ビデオ撮影：小鷹拓郎

現代の社会で水はとてもコントロールされています。近代では綺麗な水を飲むのにもスーパーなどでミネラルウォーターを買わないといけません。今回、三種の異なった水をボトル詰めし、通行人に自由に試飲できるようにしました。三種の水は精密な成分分析研究所で検査され、レポート結果も明示しておきました。ただもちろん、お分かりの通り多摩川の水はバクテリアが基準値の79倍検出されるなどされましたので、実質的には試飲が控えていただきました。

地域の人々から様々な水に関するお話がこのプロジェクトによって浮き彫りとなる結果で、とても興味深かったです。例えば、ある女性は食事にはミネラルウォーターを使用するが薬を飲む時は水道水しか使わないなど、水に関する様々な思いが伝わってきました。

■ 1 0 月 1 2 日 (f r i) 1 3 : 0 0 -
Valerian Maly & Klara Schilliger "vapour trail"
J R 新 橋 駅 前 広 場



photograph by Valerian Maly (左) 小鷹拓郎 (右)

「スイスのアルプスで収集した石20kgを封印した氷を背負い、歩き続けます」

メディア：パフォーマンス

マテリアル：スイスの石、氷、紐、チョーク

写真撮影：小鷹拓郎、瀧口恭

ビデオ撮影：丹羽良徳

化石燃料はいつか尽きる言われているが、資源は循環している。例えば、水は雨となり海に降り注ぎ、蒸発し雲となり上空へ渡りまた雨や雪となり地球上のどこかへ降り注ぐ。今回のパフォーマンスも主に環境や循環といったことをテーマにしている。スイスで採取した河川の石を東京で氷付けにし、それを背負いながら溶けるまでじっと耐える。人間存在と環境の関係について考えさせる行為だった。例えば人間も生きていだけでも、二酸化炭素を吐き出すし、ゴミを出したりする。それを如何に認めるか、またその環境と如何に関わるか。もちろん、この作品の中でもその答えは何も提示されてはいないが、それを身を以て耐えることによって、ロジカルではなく感覚的に表現を完成させていたと思う。現代の社会の中で変化はとても重要なことだけれども、その変化の方向というのは如何に定めるべきか。芸術というのは、その答えを見つける為の道具ではなく、それを考える為の装置であるのだろう。

■ 10月13日 (sat) 11:45 - 12:00
Valerian Maly & Klara Schilliger "Departure zone"
成田国際空港第2ターミナル出発ゲート

「アーティストが帰国する時、覚えてたの日本語を披露します」

メディア：パフォーマンス

マテリアル：メモ帳、金粉、新聞紙

写真撮影：恩田晋吉、小鷹拓郎

ビデオ撮影：丹羽良徳



photograph by 恩田晋吉

島国の日本にとって空港や港は元来交易の場所として機能してきた。その場は唯一海外と繋がる場所であった。日本に於いて唯一、外国語が飛び交う空間であったのだろう。アーティストがその文化背景を注意深く読み取る感性には脱帽し、ふとその声に耳を傾けた。無作為に選んだ片言の日本語を発音しながら、本当に帰国するという一連のパフォーマンスは作品至上主義から見れば、とてもレベルの低いことかもしれないが、このプロジェクトにはそれだけには収まりきらない芸術と人間と交流について考えることのできる機会を創出した。

■ 10月14日 (sun) 19:00 - 24:00
A A v i d e o n i g h t
p l a n B



photograph by 菅沼佐知子

入場料:1000円「10/7-13までの記録映像と共に世界中のアーティストの映像を一挙公開」

メディア：ビデオ上映+トーク

写真撮影：小鷹拓郎

ビデオ撮影：直方平なおと

一週間のプロジェクトを振り返りながら、ビデオドキュメント公開し、さらに関連する海外で活動しているアーティストたちの作品も同時に紹介した。都市空間と人間と言ったテーマや人間がより良く生きようとする原点には何があるのかという深い思索を立てる事ができた。ビデオ上映の後でのトークでは活発な意見交換が観客からもされ、5時間にも及ぶイベントは熱気に包まれていた。土地管理を巡る問題や各国での芸術に対する行政の考えかたなど、東京で次に何をすべきかという今後の指針を話会う良き機会となりました。

[企画者-AA project team]

[企画/主催] Organized by

AA project team

[AA project teamとは] What's AA project team?

2006年9月結成の任意団体。アーティストの丹羽良徳を中心としながら、編集者の山北健司とアーティストの小鷹拓郎による国際芸術祭企画チーム。特に丹羽良徳の国際ネットワークや国際展の経験を生かし内外のアーティストやアドバイザーなどの助言を得ながら、東京という都市での現在形の芸術の在り方を模索する。

[運営メンバー] Members

企画責任者/代表：丹羽良徳

広報担当：山北健司

会計/書記担当：小鷹拓郎

[オフィス] Office

〒1650033 東京都中野区若宮2-60-16さゆり荘6

Tel : 03-6322-7968 / Mobile : 090-4187-0362 E-mail : niwa@niwa-staff.org

[芸術祭協力者] Festival supporters

撮影スタッフ Camera Crew

恩田晋吉、直方平なおと、上野倫可、桧原勇太、菅沼佐知子、小鷹拓郎、瀧口恭、松尾思樹

ボランティアスタッフ Volunteer staff

木村健太、山田はるか

協力 Supporters

Arts and Law、山岡佐紀子、松尾思樹、根上陽子

[芸術祭日程]

2006.9.1 実行委員会結成

2006.9月上旬 企画立案

2006.9月中旬 作品プロジェクト募集告知開始

2006.10.29 プロポーザル締め切り／選定会議

>>>INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007

Artist as Activist

<作品企画募集>
INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007
"Artist as Activist"
<http://www.mwa-staff.org/aa/project.html>
2007年10月中旬予定
提出期限 2006年10月25日 (必着)

2007年10月中旬に行われる予定の国際パフォーマンスアートイベントにアーティストの皆さんも、ぜひ企画を募集します。このイベントの目的は、芸術という都市生活の隅に隠れていくかという問いに身体的なパフォーマンスをプロジェクトを通して、実際の市民の問いを解きながら考え、都市社会との関わり方を考察していくことです。わたし達は、アーティストとして活動になる必要はありません。もちろん、企画内容によりませんが、アーティストで打ちたいものから、特定の場所や場所でもなく広く広く市民生活の隅にパフォーマンスをプロジェクトも受け入れます。アーティストであると同時に、「活動家」として新たなアクションを創っていきましょう。本誌、活動家としてのアーティストは活動家ではありません。このプロジェクトに参加し、共に活動して頂ける方をお待ちしています。

>>>選出には以下が必要です:
- 名前、自家連絡先
- 自由企画案(7つのセッションを過ぎること)
- タイトル
- 作品計画書 (あれば写真も)
- 得意分野
- 使用する材料
- スペースの要望
- アクションのアシスタント
- その他必要な
- レジメ (夏期) / ノートメント
- 参加費(VIDEO CD-ROM Catalogue)
- 企画案の希望のデジタルデータを CD-R に
入れたもの (300pp) がほしい
- 参加費は主さんの、必ずコピーを返って
ください...

>>>連絡先:
AA project team
片岡 浩
〒152-0003 東京都目黒区深沢5-7-11-101

>>>問い合わせ先:
AA project team
片岡 浩
mwa@mwa-staff.org
<http://www.mwa-staff.org/>

このプロジェクトは以下の3つのチームで構成されています
A: シティプロジェクト
都市生活の隅に隠れていくかという問いに身体的なパフォーマンスをプロジェクト
B: タイプパフォーマンスアート
未定案の都市パフォーマンスも可
C: デジタルパフォーマンスアート
デジタルパフォーマンスアート
などの記録映像の上映 (DVDのみ)



(作家選定の様子)

2006.11.1 招待作家の決定

2006.11月上旬 都内ロケーションハンティング

2006.11.10 関係大使館への後援要請

2006.11下旬 各助成金申請開始

2006.11下旬 Arts and Law協力要請

2007.1-6 参加アーティストの企画詳細打ち合わせ

2007.8,3 Pro Helvetia(スイス)助成申請

2007.8.15 第一弾プレスリリース送付

2007.9.29 第二弾プレスリリース送付

2007.9.30 印刷物 / ウェブサイト 完成

2007.10.7 アーティスト来日

2007.10.8-14 企画の実施

2007.11 報告書の作成

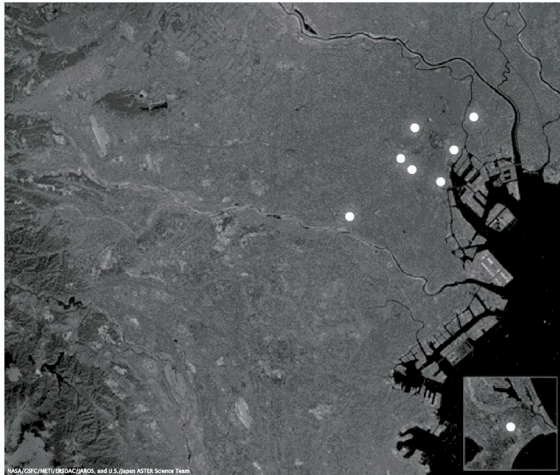
(プロジェクト募集のチラシ)



(募集直後に届いた作家資料)

[デザイン]

フライヤー Flyers



INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007
Artist as Activist

10.8 (mon) - 10.14 (sun) 2007
Various Location in TOKYO

Artist

- Immo klink
- Lynn Lu
- Steve Hines
- Stefanie Trojan
- Valerian Maly & Klara Schilliger
- Wladyslaw Kazmierczak & Ewa Rybska
- Yevgeniy Fiks
- 小鷹拓郎
- 田上真知子
- 丹羽良徳
- 山下麻衣+小林直人

swiss arts council
prohelvetia

City project 10.8-14 会場: Several public space
Live performance art 10.8-14 会場: Several public space
Video screening night 10.14 17pm-12pm 会場: Plan B

芸術で街を変えることはできるか？
芸術で街の違った側面を見ることができるか？
Artist as Activistの目的は東京という都市が持つ歴史/文化/環境/人々と現代芸術がどのように関わっていくかという問いに具体的なパフォーマンスやプロジェクトを通して、文化や芸術の進歩を促し、街や社会との関わり方を考察する事。国際的なアーティストの日本国内で活動するアーティストの両方の視点により東京を見直し、芸術で促せる社会変革を通して、現在の東京の姿を浮かび上げられる試みでもあります。この芸術祭では、特に公共空間などを利用し現場で起こる出来事に注目します。市民とアーティストの共同作業や協力といった関係の中から、これらからあるべき姿を生み出そうと考えています。

主催: swiss arts council, prohelvetia
協賛: Swiss Consulate, Swiss Embassy, Swiss Consulate, Swiss Embassy, Swiss Consulate, Swiss Embassy

Date	Project	Artist	Place	Time
10月7日	Arrival zone	Valerian Maly & Klara Schilliger	成田国際空港 第二ターミナル	17:00-17:40
10月9日	Hyper pillow fight	丹羽良徳	茨城県八千代公園	20:00-20:05
10月10日	公園テレビ	小鷹拓郎	代々木公園内 恵比寿口鉄道の芝生広場	14:00-19:00
10月11日	(deo)water	Yevgeniy Fiks	二子玉川公園	13:00-17:00
10月12日	vapour trail	Valerian Maly & Klara Schilliger	JR新橋駅前	13:00-
10月13日	Departure zone	Valerian Maly & Klara Schilliger	成田国際空港 第二ターミナル	11:45-12:00
10月14日	«AA project video night»	—	Plan B	19:00-24:00

Wladyslaw Kazmierczak & Ewa Rybska
Immo Klink [Urban Climbing]
山下麻衣+小林直人 [Release of Mincewater] 2006
Lynn Lu [Release of Mincewater] 2006
Valerian Maly & Klara Schilliger [Arrival zone] 2007
Steve Hines [B x 3]
田上真知子 [ゼロ次元後のアクションアート] 2006
Yevgeniy Fiks [(deo)water]
Stefanie Trojan [Arrival zone] 2004
小鷹拓郎 [公園テレビ] 2006
丹羽良徳 [Hyper pillow fight in the train] 2006

URL : <http://www.artistasactivist.org/> 随時更新中、詳細はこちらまでご連絡下さい。スケジュール変更の可能性もございます。

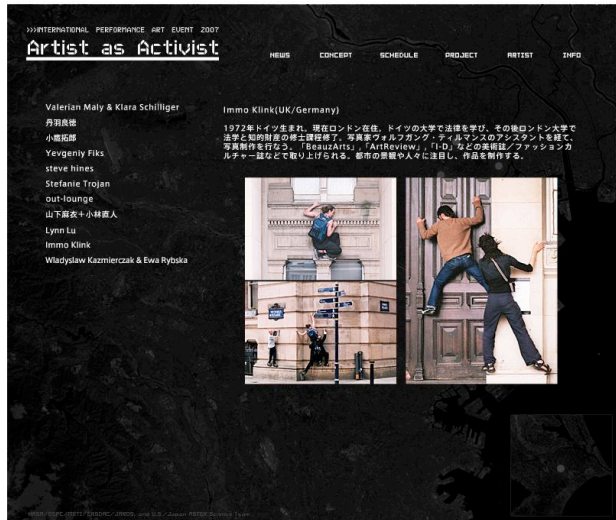
デザイナー：梨本由香

サイズ：A4 (210mmx148mm)

部数：5000

カラー：4C

ウェブサイト Web site



デザイナー：伊藤利恵

URL : <http://www.artistasactivist.org/>

ロゴ Logos

>>>INTERNATIONAL PERFORMANCE ART EVENT 2007

Artist as Activist

デザイナー：丹羽良徳

サイズ：可変

カラー：BW

サインボード Boards



デザイナー：梨本由香

制作：丹羽良徳

サイズ：B2 (515mm×728mm)

カラー：BW

[データ編] 収支報告

★計画
-支出-(円)
会場借用費 20000
印刷費用 50000
諸謝礼 80000
滞在費 20000
通信費 10000
消耗費用 20000
雑費 10000
記録消耗費用 10000
事務経費 20000
合計：240000円
-収入-(円)
自己負担金 240000
合計：240000円

★結果

-支出-(円)

■会場借用費

plan B 25000

■印刷費用

プレイヤー 15500

■諸謝礼

ヴァレリアン&クララ 20000

デザイン伊藤&梨本 20000

■滞在費

0

■アーティスト旅費

ヴァレリアン&クララ 3000000

■通信費

0

■消耗費用

コピー代 3770

インク、用紙 20912

■雑費

タクシー代 3580

AVケーブル 4060

■記録消耗費

ビデオテープ代 2900

■事務経費

郵送費 29950

看板 754

イベントビール/ワイン代 7410

■作品制作費

ボトル 2250

ミネラルウォーター 690

水質検査 18900円

-合計：475,966円

-収入-

自己負担金 175,966

Pro Helvetia 300000

-合計：475,966

[観客動員数]

性格な数値が把握できない場合は概算の数値を記入してあります。またプロジェクトの特性上動員数が明確で無い物が含まれております。

日時／アーティスト／プロジェクト／場所	動員人数
Pre ■10月7日 (sun) 17:00-17:40 Valerian Maly & Klara Schilliger "Arrival zone" 成田国際空港第2ターミナル到着	50
■10月8日(月/祝) 20:00-24:00 Artist as Activist "渋谷界限移動式オープニングパーティー"	50
■10月9日 (tue) 20:00-20:05 丹羽良徳 "Hyper pillow fight" JR渋谷駅ハチ公前	120
■10月10日 (wed) 14:00-15:00 小鷹拓郎 "公園レシピ" 代々木公園内、原宿駅口最寄りの芝生広場	20
■10月11日 (thu) 13:00-17:00 Yevgeniy Fiks "Ideo water" 東急田園都市線「二子玉川」駅周辺	50
■10月12日 (fri) 13:00- Valerian Maly & Klara Schilliger "vapour trail" JR新橋駅前広場	100
■10月13日 (sat) 11:45-12:00 Valerian Maly & Klara Schilliger "Departure zone" 成田国際空港第2ターミナル出発ゲート / NRT terminal 2	20
■10月14日 (sun) 19:00-24:00 AA video night Plan B	45
総計	455名

[プレスクリップ]

プレビュー Preview

■L25 (No.36 2007.10.4発行)

■阿佐ヶ谷美術専門学校広報誌

■weekly ぴあ関東版 (2007年10月11日号/ 2007年10月18日号)

<p>10 / Thu 11</p> <p>今日のオススメ</p>  <p>023 OZONE サポート 区田尚樹 十テラデザイン展開催!</p> <p>コロムビアの可愛らしい、夏はスクール! の展覧会では、両儀の新作家具「HOKKA-DO」を中心に、建築家の寺田尚樹氏が手がけたインテリアや家具、雑貨などが展示。計算された色彩や光で作品を効果的に演出します。区田尚樹展覧会「OZONE」区田尚樹展 区田尚樹展覧会「10/11〜15/10/18 区田尚樹展」 区田尚樹展</p> <p>その他のイベント</p> <p>024 区田尚樹展覧会「OZONE」区田尚樹展覧会「10/11〜15/10/18 区田尚樹展」</p>	<p>10 / Wed 10</p> <p>今日のオススメ</p>  <p>025 横浜中華街がお祭りムード 一気に! 爆竹が響く「雙十節」</p> <p>中華民国の建国を祝う祭典、雙十節(双十節)が今年も開催されます。中国の古典舞踊や、20団体以上が参加するパレード、2.5mもあるボールの上で演技を繰り広げる獅子舞など、迫力満点の催しが盛りだくさん!</p> <p>026 中華民国の建国を祝う祭典、雙十節(双十節)が今年も開催されます。中国の古典舞踊や、20団体以上が参加するパレード、2.5mもあるボールの上で演技を繰り広げる獅子舞など、迫力満点の催しが盛りだくさん!</p> <p>027 中華民国の建国を祝う祭典、雙十節(双十節)が今年も開催されます。中国の古典舞踊や、20団体以上が参加するパレード、2.5mもあるボールの上で演技を繰り広げる獅子舞など、迫力満点の催しが盛りだくさん!</p>	<p>10 / Tue 9</p> <p>今日のオススメ</p>  <p>028 「アララジアロンゾ」の期間限定ミニショップ開催中!</p> <p>愛・地球館のヘリゾール&キッコロや「たまひよ」のキャラクターデザインなどで知られるアララジアロンゾの仕業が有楽町駅西口に「完全1 ランプボックスストア」をオープン。ランプボックスを期間限定で販売します!</p> <p>029 愛・地球館のヘリゾール&キッコロや「たまひよ」のキャラクターデザインなどで知られるアララジアロンゾの仕業が有楽町駅西口に「完全1 ランプボックスストア」をオープン。ランプボックスを期間限定で販売します!</p>	<p>10 / Mon 8</p> <p>今日のオススメ</p>  <p>030 東京の街に現代アートがあふれる Artist as Activist 開催!</p> <p>独自の文化を持つ東京の街に現代芸術を融合させるプロジェクトが実現! 国内外アーティストによる国内外各街での路上ライブパフォーマンスや、高層ビルの壁を上る人々の記録ビデオ上映などが新鮮なアートがいっぱい!</p> <p>031 独自の文化を持つ東京の街に現代芸術を融合させるプロジェクトが実現! 国内外アーティストによる国内外各街での路上ライブパフォーマンスや、高層ビルの壁を上る人々の記録ビデオ上映などが新鮮なアートがいっぱい!</p>					
<p>L25 女子力検定</p> <p>【問5】</p> <p>歌に基づいた恋選、彼が心配そうに「オレ、印象悪くなかったかな?」と聞いてきた。べつに無難を感じた。尚、おどろきに何も言っていない。適切な答え方はどれ?</p> <p>①「べつに無難を感じたんじゃないの?」</p> <p>②「感じのいい人だから、親が言ってきたよ」</p> <p>③「心配しなくても、ぜんぜん大丈夫だよ」</p> 	<p>L25 女子力検定</p> <p>【問4】</p> <p>いっしょに暮らしている高齢の祖母が、彼を見て「この人が、ムムちゃんのお婿さんかい?」と聞いてきた。彼は「いや、その…」と困っているが、なんて答えればいい?</p> <p>①「まだわからないけど、そう言ったときはよろしくね」</p> <p>②「おほあちゃんったら、いきなり失礼なこと言わないでよ」</p> <p>③「アハハ、おほあちゃんにしかできない言い伝えだね」</p>	<p>L25 女子力検定</p> <p>【問3】</p> <p>新進好きの母が振り切って作ってくれたメニューには、彼が犬の舌と云うピーマンやニンジンがふんだんに使われていた。彼は明らかに戸惑っているが、さて、どうする?</p> <p>①「お母さん、裏は彼は…」と代わりに事情を説明する</p> <p>②「舌手だったら残していいからね」と彼に言うてあげる</p> <p>③「とにかく何もせずに黙って見守る」</p>						
<p>今回の「L25女子力」レベル判定!</p> <p>合計 = <input type="text"/> 点!!</p> <table border="1"> <tr><td>Level 1</td></tr> <tr><td>Level 2</td></tr> <tr><td>Level 3</td></tr> <tr><td>Level 4</td></tr> <tr><td>Level 5</td></tr> </table> <p>Level 25点のあなた 完全無欠のL25女子力! Level 19~21点のあなた 題材は出るL25女子力! Level 7~18点のあなた 判別し難いL25女子力! Level 0~6点のあなた 高中学業のL25女子力!</p> <p>感心したところから、悔しいところまで、あなたの個性が溢れ出るように、ぜひこの検定を乗り越えてください。あなたの個性が溢れ出るように、ぜひこの検定を乗り越えてください。あなたの個性が溢れ出るように、ぜひこの検定を乗り越えてください。</p>				Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5
Level 1								
Level 2								
Level 3								
Level 4								
Level 5								

↑L25より

レビュー Review

■Art drops (Online art magazine)

URL ; <http://artdrops.exblog.jp/>

art drops : Artist as Activist 「アーティストが帰国する時、覚えてたの日本語を披露します」 2007/10/22 07:56 PM

トップ | ログイン

art drops

TOP contents

Artist as Activist 「アーティストが帰国する時、覚えてたの日本語を披露します」

text : 金子きよ子



こんにちは

アーティストの丹羽良徳さんが、10月8日から10月14日まで国際芸術祭を行いました。今私は10月13日に成田国際空港第2ターミナル出発ゲートで行われるというパフォーマンスに足を運んできました。そして、そこで思わぬ体験をすることになりました。

今回成田国際空港第2ターミナル出発ゲートで行われるパフォーマンスは、丹羽さんからのメールでの情報によれば「アーティストが帰国する時、覚えてたの日本語を披露します」と書いてあります。

???よく意味が分からないが、面白そうなのでまずは行ってみよう。

はるばる成田空港に赴き、空港に到着。丹羽さんに電話をかけてみると、出国ゲートに既に到着しているとのこと。

早速行ってみるとくしゃくしゃに丸めた新聞紙を持った外国人2名と丹羽さんが「ひそひそとやら打ち合わせをしています。

不穏な雰囲気不安を感じ、「何をやるの?」と尋ねたところ、出国ゲートに新聞紙を広げ、覚えてたの日本語を大声で披露するというのです。

http://artdrops.exblog.jp/7198091/#7198091_1 ページ 1/3

カテゴリ

- インタビュー
- レポート
- コラム
- エッセイ
- お知らせ
- おすすめサイト
- art dropsとは?
- メンバー紹介
- お問い合わせ

検索

検索

ネームカード

Excite Namecard

my namecard

うわさのキーワード

- サッカーくじ - ポ
- トックスの注射 - 漢月
- 年賀状 - ハッピーマ
- ニア - 土佐礼子さん -
- Mラバ - Webデザイ
- ンの満腹 - 旦那の浮気
- 魔女の宅急便 - エ
- ヴァングリアン -

■Locus Suspectus

(Canadian contemporary art magazine)

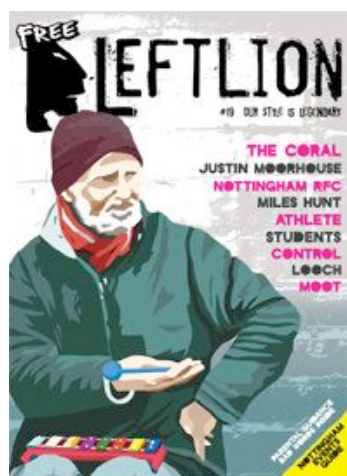
Ohta Emmaさんが現在原稿作成中



■Left Lion

(British culture magazine)

Ohta Emmaさんが現在原稿作成中



[企画者から]

Message from organizers

芸術祭はパワーを持っていないといけないと思う。それも連帯するパワーを。アーティスト個人の力も去ることながら運動体としての継続するそして組織としてのパワーが必要だと思う。今回のプロジェクトではたまたま至らぬことがあり、広報面や動員などでかなりの失態をおかしているが、対話することの大切さや文脈の違うアーティストや一般市民などに関わることによって一つの都市像を掴もうとする試みは、とても重要だということを再確認した。

近代における行政のコントロール化は進む一方ではあるが、そこに切り込み人間存在の主張を如何にするかということとはとても難解のように思えるが、一方ではとても単純明快な思想原理から来ているのだ。私たちは生きています、それもより良い社会を求めて。そこでは確かに争いや意見の違いはあるでしょうが、私たちはその話し合いの時間を厭いません。それを実現させるには、とても膨大な時間と労力が必要です。美術館や画廊といった一種の特権空間に迷い込み権威を得ることは私の希望ではありません。どれだけ人生が窮地に追い込まれようとも、私は人間の性善説を信じたいと思います。私には何があるとも生きていきます。死にませんと言える限り。

ある人はあなたのやっていることは過激な思想だと言う方がいらっしゃいますが、なにも過激左翼思想でもなく、理想に向けた切ない思いを如何になんの制約に囚われず目指すかという実験なのです。ですから、これからは継続と現実に身の回りで起きていることを、さらに注意深く観察しその現場からの声を拾っていただければと思っております。芸術は作品そのものだけのことではありません、その芸術が如何に私たちと関わっているかということなのです。